

# 文法 言葉の単位 練習問題

( ) (組) ( ) 番 氏名 ( )

一、次の文章は、いくつの段落と文からできているか。それぞれ答えましょう。

日本語には、天候にかかわる言葉が多い。四季の移り変わりがはっきりしていて、空や雨や風の表情が豊かだから、というのがその理由だろう。

が、逆に、豊かな日本語によって、わたしたちは自然のさまざまな表情を教えられることも多い。そんなふうになづけられていなかったら、ただの空であり、ただの雨であり、ただの風としか感じられなかっただろうなあ、と思うことがよくある。言葉によって日本人は、自然の豊かさを、さらに美しいものにしてきたようだ。

例えば、「花曇り」という言葉がある。桜が咲くころの、曇りがちの天気を表している。確かにそのころというのは、すっきりしない曇天が多い。

「せっかく花が咲いて、暖かくなってきたっていうのに、あーあ、なんだか憂鬱な色の空だなあ。」

青空が大好きなわたしは、春になると何回となく、曇り空を恨めしく思う。が、あるとき、そういう空を「花曇り」というのだ、ということを知った。

段落 ( ) 文 ( )

二、次の各文を例にならって文節に区切りましょう。

(例) きれいな一花が一たくさん一咲きました。

- ① 歩きながら、私は涙が止まらなかった。
- ② 二十一にもなった女がびよおびよお泣きながら歩いているのだ。
- ③ 他の人たちがいぶかしげに私を見たのも無理はない。
- ④ それでも私は泣きやむことができなかった。
- ⑤ デュークが死んだ。
- ⑥ 私のデュークが死んでしまった。
- ⑦ 私は悲しみでいっぱいだった。

三、次の各文はいくつの文節からできていますか。数を答えましょう。

- ① 町の真ん中で、不意に、フリードリヒが現れた。 ( )
- ② きみ、時間ある？ ( )
- ③ 話したいことがあるんだ。 ( )
- ④ お父さんにはわかってもらえないし、聞いてもくれない。 ( )
- ⑤ だけど、誰かに聞いてもらわないと、ぼくもう我慢ができない。 ( )
- ⑥ 長くはかからないから。 ( )
- ⑦ ぼくの返事を待ちもしないで、フリードリヒは並んで歩いた。 ( )

四、次の各文を例にならって単語に区切りましょう。

(例) 暑いー夏ーがーくる。

- ① 庭にきゅうりを植える。 ( )
- ② 彼は明日新しい車を買う。 ( )
- ③ 小鳥がかごの中にいる。 ( )
- ④ 桜のつぼみが大きくなる。 ( )
- ⑤ 先生から話をうかがう。 ( )

五、次の各文で、正しく単語にわけられているものに○を、そうでないものに×をつけましょう。

- ① 祖母ーがーぼくーにー話す。 ( )
- ② 駅ーまでーむかえーにー行く。 ( )
- ③ 彼ーはーととなりーのー中学校ーのー生徒だ。 ( )

六、次の各文はいくつの単語からできていますか。数を答えましょう。

- ① 全員で大きな荷物を運ぶ。 ( )
- ② 白いちようが大根の花に集まる。 ( )
- ③ 彼女は暗算が得意です。 ( )
- ④ ぼくは中学生だ。 ( )
- ⑤ ぼくは中学生だった。 ( )
- ⑥ ぼくは中学生だったの。 ( )